

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)		令和6年度決算について 令和6年度決算の評価と今後の財政運営について 監査意見は決算を概ね評価し、総論的には市の投資戦略を肯定しながら、今後は基金を減らさない市政運営を求めているが、この両立は財政的に大変難しい課題であると考えられる。 そこで、決算についての当局における評価を尋ねる。 また、投資戦略と基金残高確保の両立のため、今後の財政をどのように運営する方針、見通しであるのか、併せて示せ。	
	(2)		加賀山代温泉財産区及び加賀山中温泉財産区の将来展望について 両財産区とも黒字だが、監査意見は、財産区の在り方を抜本的に検討する必要性を示唆している。両総湯は市の大切な財産のため、残して活用しなければならない。 そこで、財産区が合併を円滑にする特例的制度があることや、片山津財産区は既に廃止されたことを踏まえ、当局として、両財産区の将来をどのように考えているのか。	
2	(1)		9月補正予算の防災活動推進費について 拠点備蓄倉庫について 各拠点備蓄倉庫から各指定避難所に配付する際の効率性を考慮し、拠点備蓄倉庫の設置はどのような場所を想定しているのか。 また、設置に際して、各地区とのすり合わせと連携をどのように行うのか。 さらに、拠点備蓄倉庫とセミナーハウスあいりす前の備蓄倉庫との役割分担、流通備蓄との連携の考え方についても問う。	
	(2)		食品類の消費期限対応と分散備蓄品の在庫管理について 備蓄食品類を消費期限が来るたびに廃棄することは無駄だと思うが、どのような取扱方針なのか。 また、備蓄品を避難者に円滑に届けるためには、在庫管理をリアルタイムに行う必要があるが、今般の備蓄箇所分散で複雑化と備蓄総量の大幅増加で在庫管理が困難にならないのか。消費期限情報の管理も含めてどのように対応する予定なのか。	

発 言 通 告 書 要 旨 （ 2 枚目／全 2 枚）

氏 名 川 下 勉

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
3	(1)		動橋川の河川改修事業について 近年の事業計画について 近年（令和 6 年度～令和 8 年度まで）の実施事業と計画の具体的内容を問う。 また、早期の全体完成が望まれる中、動橋大橋の完成予定時期及び柴山潟～新梶井橋の間とされている改修事業の完成時期について問う。	
	(2)		動橋大橋の欄干のデザインについて 今後の上部工において、動橋町の大橋として、欄干に特徴的なデザインを施すことができないか。 動橋町は古くは宿場町で、北前船の荷物を積み下ろす船着き場があった古い歴史や、伝統的なぐず焼きまつりがあり、これらを表すデザインや陶板を使った施工を工夫してはどうか。	
4			バランスのとれた政策の推進について 加賀市の将来を見据えた投資戦略には賛同するが、投資の成果はすぐには市民生活に目に見えて現れないものもあるように思われる。 一方、目に見える社会基盤投資（道路、消雪、側溝等）投資も基礎自治体として大切であるが、市民からは「社会基盤整備に関する事業が軽視されているのではないか」という声も聞かれる。 将来への投資と、市民生活に密着直結する社会基盤への投資のバランスをとることが重要であると思うが、どのように考えているのか。	